

メーデー宣言

本日、私たちは第 86 回京都中央メーデーを開催した。

東日本大震災からすでに4年が経過したが、現在も約 23 万人もの人々が避難生活を余儀なくされ、大変な苦労が続いている。私たちは、これからも被災地の復興と再生に向けて力を尽くすとともに、震災の教訓を決して風化させることなく、被災地との絆を深めながら支援を継続していく。

一方、わが国の経済・社会は、格差の拡大、大幅な財政赤字、社会保障制度改革の遅れなど、依然として深刻な状況にある。私たちは 2015 春季生活闘争を最後まで戦い抜き、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を果たし、「デフレからの脱却」と「経済の好循環の実現」をはかっていく。

そして、労働者保護ルール改悪阻止と「全世代支援型」社会保障制度の確立などを求め、京都中央メーデー並びに府内地域メーデーで以下の対政府要求を確認し、その実現のための全国統一行動を5月からスタートさせる。

- 一、労働者派遣法の改悪をしないこと。
- 一、実効ある長時間労働抑止策を導入すること。労働時間規制の緩和につながる労働基準法の改悪をしないこと。
- 一、公的年金制度の年金積立金の運用にあたって拠出者である労使の意思が確実に反映できるガバナンス体制を構築すること。

労働者を使い捨てにする“ブラック企業”問題が広がる時代にあって労働組合の必要性は益々高まっている。働くものの力をより大きくしていくためにも、あらゆる職場で労働組合をつくり、一人でも多くの仲間を増やして 1000 万連合の実現をめざそう。

本年は戦後 70 年の節目の年である。先の大戦を経験された方々と同じ時代に生きる者として、私たちは、戦争を二度と繰り返してはならないという平和への誓いを、全国の仲間と共有し前進していこう。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合の仲間と連帯し、自由で民主的な労働運動とすべての働くものの幸福を実現するための取り組みを強化する。

「平和を守り、雇用を立て直す みんなの安心のため、さらなる一步を踏み出そう！」

本日結集した仲間との連帯により、STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現に邁進し、「働くことを軸とする安心社会」への扉を切り拓くことを、今ここに宣言する！

2015 年 4 月 26 日 第 86 回京都中央メーデー